



<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生、卒業生に発表の場を提供しております。

この企画は、日本画を志す若手作家の育成と共に、各地域の文化芸術の支援活動を通じてあいおいニッセイ同和損保の活動指針である「地域密着」を具体化する取り組みです。

2023年は、昨年の7校から新たに2校の美術大学を加え、9校の若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（2月～8月）となります。

今回は、4月29日（土）から「名古屋芸術大学 日本画コース二人展 帆刈晴日×山守良佳」の展覧会を開催いたします。

■タイトル / 「haconiwa」

～第17回大学日本画展 <名古屋芸術大学 日本画コース二人展 帆刈晴日×山守良佳>～

■会 期 / 2023年4月29日(土)～5月14日(日) 11:00～19:00 *最終日 17:00 まで

<月曜定休>【入場無料】

* 新型コロナ感染拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります

ご来廊の前には必ずギャラリーのHP/ <https://unpel.gallery> または Twitter/ https://twitter.com/unpel_gallery /をご確認ください

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

■参加作家名（ふりがな）

・帆刈 晴日（ほかり はるひ）

・山守 良佳（やまもり よしか）

■展覧会内容

帆刈晴日の作風は、鮮やかでありながら重みを有する色彩で、何気ない日常の断片にある小さなドラマを昇華させ寓話のように発展させる視点が特徴です。

山守良佳は日々過ぎていく時間と安らぐ感情の中で、ふと見せる現実と非現実の狭間の様な気持ちの揺らぎをペールトーンが基調となった色感で拾い上げていきます。

二人が描く画面には主体となるモデルの他、様々なモチーフが現れますが、それらはすべて作者の紡いだ物語における演者であり、内容を読み解く鍵になったりもします。

未曾有の出来事が次々に起こる昨今、機微に触れるささやかな事象を絵画として表現できる帆刈・山守の作品は、見る者に大切な心の在り方を再確認させてくれるでしょう。

今回二人が共通テーマとして選んだ『cherish』という言葉、会場全体でぜひ感じ取っていただきたいと思います。名古屋芸術大学日本画コースで学び、活動を続ける作家たちが内包するリアルを何卒この機会にご高覧賜りますようお願い申し上げます。

■主 催 / 名古屋芸術大学日本画コース

■企 画 / UNPEL GALLERY

■協 賛 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<ご連絡・お問い合わせ先>

■ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・内城）

E-mail / tsubaki@un-pel.com <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

* お問い合わせは E-mail にてお願いします

●作家プロフィール

帆刈晴日 -HOKARI HARUHI-



「いつもの食卓」 600×1800mm

2023 年

愛知県出身

2012 名古屋芸術大学美術学部美術学科日本画コース卒業

現 在 名古屋芸術大学日本画コース非常勤講師

[個展]

2016 -星とサーカス- 帆刈晴日 日本画展(5/R Hall&Gallery/愛知)

2017 日本画 帆刈晴日展 (遊倶楽部/愛知)

2018 -ひとりぼっちのパレード- 帆刈晴日 個展 (5/R Hall&Gallery/愛知)

2019 ひらひらと舞う。帆刈晴日展 (名古屋松坂屋アンテナプラス・アート/愛知)

2020 スパイス (5/R Hall&Gallery/愛知)

2021 time (大丸京都展アートサロン ESPACE KYOTO/京都)

ポケットに飴玉 (ギャラリーマルキーズ/愛知)

2022 アーティストの物語 (5/R Hall&Gallery/愛知)

メグル (5/R Hall&Gallery/愛知)

ツミキ (ギャラリー水の音/岐阜)

[入選]

2011 第 46 回日春展 入選('15)

2015 第 15 回福知山佐藤太清展賞公募展美術展 入選

2018 改組 新 第 5 回日展 入選

2021 第 28 回 飛騨高山臥龍桜日本画大賞展 入選

目に見えないものを、

言葉にできない感情を、

通り過ぎた一瞬を、

私の周りに存在している曖昧なこれらをテーマに、作品制作を行っています。

山守良佳 -YAMAMORI YOSHIKA-



「とある、はるのひ」 600×1800mm

2023 年

三重県出身

2018 名古屋芸術大学大学院 美術研究科 美術専攻 日本画制作研究領域修了

現在 名古屋芸術大学日本画コース講師 日春展会友

[個展・展覧会]

2018 夜の真中で隠れんぼ -山守良佳個展- (ギャラリーMOS/三重県松阪市)

2019 -目で見る名曲集- GORO NOGUCHI GOLDEN HIT PARADE (岐阜県美濃市)
Next StageIV (松坂屋名古屋展/名古屋市/'20'21'22)

2020 迷うクジラ (東京九段耀画廊/東京九段下'22)

2021 特別展「日本画の今～若手作家の挑戦」(古川美術館/名古屋市)
山本冬彦が選ぶ若手作家小品展VII (ギャラリー枝香庵/銀座)
黎明の会 (JR 名古屋高島屋/名古屋市)

2022 あかつき (ギャラリーMOS/三重県松阪市)
「Take a step !」-NUA 選抜日本画展 (京都大丸 ESPACE/京都市)

2023 津市ゆかりのアルスのきらめき 日本画作家展 (津市久居アルスプラザ/津市)
第10回郷さくら美術館桜花賞 推薦出品 (郷さくら美術館/東京目黒区)

[入選・受賞]

日春展 入選 ('15'17'18'19'21'22)

改組新第3回 日展 入選 ('16'17'18'19'20'22)

2019 安曇野涼風扇子公募展 大賞

2022 新日春展 奨励賞

2023 日展名古屋展 CBC 賞

星のように月のように刻々と変わる、人々の心の機微を描き留める日々。
そんな中で私自身の人生も、絵が描いてくれているような気がします。